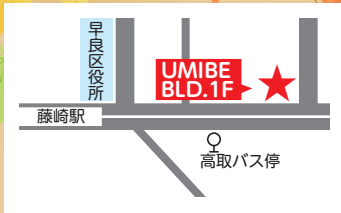




福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ここと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
早良区社協事務所（早良区社会福祉協議会）
福岡市早良区百道 1-1-1 UMIBE BLD.1 階
TEL:092-832-7383 FAX:092-832-7382
Eメール:sawaraku@fukuoka-shakyo.or.jp

コロナ禍での地域福祉活動

子どもと食の居場所づくりの取組み 笑顔でいられるように

コロナ禍の中、感染防止の対策を講じながら、「子どもの食と居場所づくり」の取組みが行われています。

緊急事態宣言等の期間中は、調理する場所や食事をする会場として公民館が使用できなくなるなど、活動に大きな影響がありました。

子どもの居場所として開催できない間は、フードバンク*や企業などから提供された食材等を配布するなど、工夫して活動を続けています。

*フードバンクとは、賞味期限内でまだ食べられるにも関わらず、印字ミスや箱の破損、規格外などで販売できない食品を、企業・農家・個人などから受け取り、必要な方へ無償で提供する活動です。



さわらこども食堂



さわらこども食堂では、コロナ禍の中では食事の提供の代わりに月に2回フードバンクやJA等からの提供を受け、予約制で食材配布を行っています。

大原すまいるキッチン



大原すまいるキッチンでは、毎月第1・3・5水曜日に実施していた公民館内での食事の提供の代わりに、緊急事態宣言中は公民館外で食材とお弁当を配布しました。

早良区内の地域福祉活動の取組み

～コロナ禍でもできることを少しずつ～

感染症対策を行いながら実施された
校区社会福祉協議会の活動内容をご紹介します

高取校区「見守りマップづくり」

令和3年7月31日(土)に実施したふれあいネットワーク研修会にて、見守りの状況を可視化しボランティア同士で共有する「見守りマップづくり」を行いました。各町で見守りを行っている自治会長、民生委員、老人クラブ会員等が参加し、密を避けるため校区全6ブロックを2ブロックごとに3回に分けて実施しました。以前作成したマップと見比べながら、拡大印刷された住宅地図上に見守り対象者や、今後対象にしたい人等の印付けを行いました。参加者からは「マップをきっかけに町内で見守りを充実させていきたい」という感想が聞かれ、高取校区では今後もマップの更新作業を行う予定です。



田村校区「見守り研修会」



令和3年度から本格的に開始したふれあいネットワーク活動の更なる充実を目指し、孤立防止センターの速水靖夫氏を講師に招き、7月24日(土)に「見守り研修会」を実施しました。なぜ見守りが必要なのか、その目的や役割を再確認し「地域住民だからこそできること」を学びました。感染予防のため人数制限をしましたが、参加した倉員博行公民館長は「とてもわかりやすく、これからの見守り活動に十分役立つ内容だった」と話されました。今後は各町内で研修会で学んだ内容を共有し実践されていくことが期待されます。

脇山校区「買い物支援の取組み」

高齢化率が40%近くの脇山校区では、運転免許の返納や単身世帯の増加など、生活環境が変化して、買い物や通院などの移動手段にお困りの声を聞くことが増えています。令和3年7月16日(金)に市社協主催の買い物支援個別相談会が開催され、買い物支援の取組みに向けて動き始めました。個別相談会では、地域の方から脇山校区の現状を伝え、市社協は買い物支援の取組みについての説明や事例を紹介し、最後に意見交換が行われました。まずは椎原町内で取組みを進めていくことになり、お住まいの方々の実情やご要望を把握するために全戸アンケートを実施しました。アンケート結果を分析し、これから地域の方々と協議を行いながら取組みを進めていきます。

